

平成30年度採用 特別研究員説明会

(第一部 制度概要・手続き編)

2017.3.9

研究企画課研究推進グループ

Mail : j-fellow@jim.titech.ac.jp

電話 : 03-5734-3806 (内線 7221, 7610)

受付時間 : 8:30~17:15(12:15~13:15は昼休み)

事務室 : 事務局 2 号館 2 階

特別研究員制度について

特別研究員制度とは

特別研究員制度は、我が国トップクラスの優れた若手研究者に対して、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与え、研究者の養成・確保を図る制度です。

特別研究員として採用された者には、研究奨励金が支給されるほか、科研費(特別研究員奨励費)の応募資格が与えられます。



(博士課程在学者対象)

DC1, DC2



(博士学位取得者対象)

SPD, PD, RPD

特別研究員に与えられるもの

■ 研究奨励金

月々の「給与」のようなもの

DC1,DC2・・・月額 200,000円

PD,RPD・・・月額 362,000円

SPD・・・月額 446,000円

■ 科研費（特別研究員奨励費）

科研費（特研費）の応募資格が与えられます。

研究遂行のための国からの**補助金** 東工大に振り込まれ、大学で管理

- ・ 補助金適正化法（法律）
- ・ 科学研究費補助金取扱規則（JSPS規則）
- ・ 東工大の会計基準（所属研究機関の規則）

特別研究員の制限

- 特別研究員以外の身分を持たないこと
→就職が決まった場合には、特別研究員を辞退する必要があります。
- 特別研究員の義務を遂行すること
→研究専念義務や研究報告書の提出
- 他の機関からの資金援助を受けないこと
× JASSO(日本学生支援機構)奨学金、国費留学生の母国からの奨学金

遵守事項の手引き：http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_tebiki.html

申請資格について

申請資格・支給経費・採用期間



■ 特別研究員-DC

平成30年4月1日現在、我が国の大学院博士課程に在学し、次のいずれかに該当する者（外国人も含む）

【DC1】

1. 区分制の**博士課程後期第1年次相当**（在学月数12ヶ月未満）に在学する者
2. 一貫制の博士課程第3年次相当（在学月数24ヶ月以上36ヶ月未満）に在学する者
3. 後期3年の課程のみの博士課程第1年次相当（在学月数12ヶ月未満）に在学する者
4. 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第2年次相当（在学月数12ヶ月以上24ヶ月未満）に在学する者

【DC2】

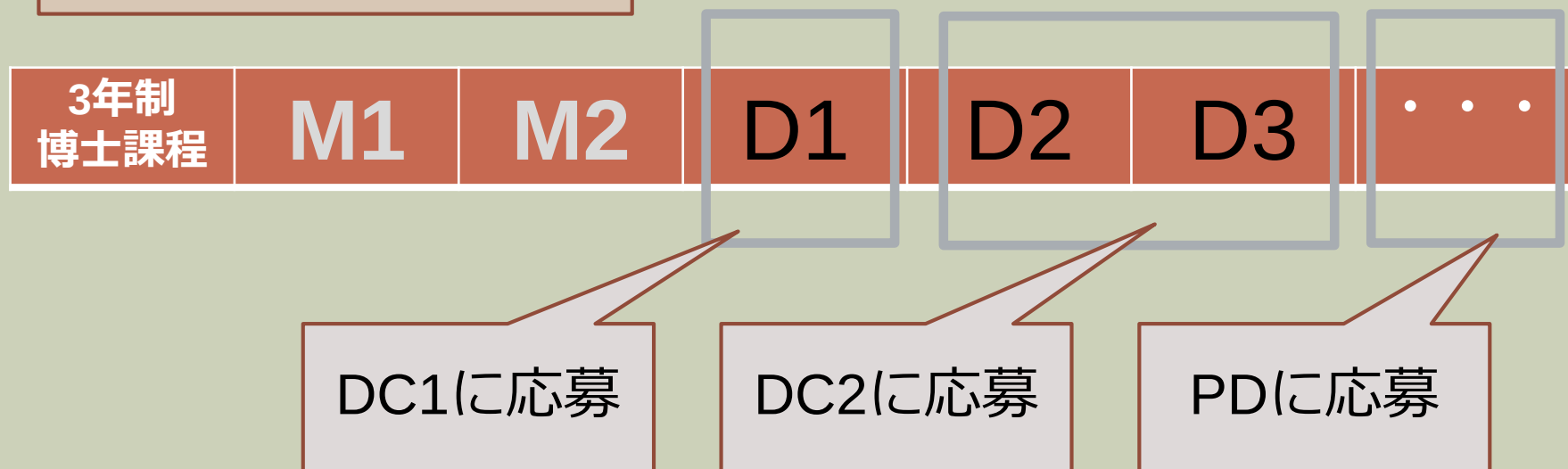
1. 区分制の**博士課程後期第2年次以上の年次相当**（在学月数12ヶ月以上36ヶ月未）に在学する者
2. 一貫制の博士課程第4年次以上の年次相当（在学月数36ヶ月以上60ヶ月未満）に在学する者
3. 後期3年の課程のみの博士課程第2年次以上の年次相当（在学月数12ヶ月以上36ヶ月未満）に在学する者
4. 医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制の博士課程第3年次以上の年次相当（在学月数24ヶ月以上48ヶ月未満に在学する者）

申請資格・支給経費・採用期間



■ DCの採用時の在学年次と応募資格イメージ ※4月入学の方

平成30年4月1日現在での
所属予定



※博士号取得後5年未満の者は
応募可能

※満期退学者、標準修業年限を
超えて博士課程に在学する者
は応募不可

申請資格・支給経費・採用期間



申請資格は在学月数で決定します。

例：平成29年10月1日に博士入学予定

→採用年度（平成30年）の4月1日の在学月数は「12ヶ月未満」
よって、応募資格は

「DC1」

1.区分制の博士課程後期第1年次相当

（在学月数12ヶ月未満）に在学する者

休学期間が6ヶ月以上ある場合は在学月数に加算できない等のルールがありますので、必ず募集要項をご確認ください。

申請資格・支給経費・採用期間



■ 特別研究員-PD

- 1.平成30年4月1日現在、博士の学位を取得後5年未満の者（平成25年4月2日以降に学位を取得した者。申請時には見込みでも良い。）

※ 特別研究員PDの採用経験者を除く

- 2.受入研究機関等の選定（研究機関移動）

1. 受入研究機関については、大学院博士課程在学当時（修士課程として取り扱われる大学院博士課程前期は含まない）の所属大学等研究機関（以下「出身研究機関」という。）以外の研究機関を選定すること。
2. 受入研究者については、大学院博士課程在学当時の研究指導者以外を選定すること。

特別研究員-PDの申請資格審査に係るガイドライン

http://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_sinsa.html

- 3.国籍

日本国籍を持つ者、又は日本に永住を許可されている外国人

申請資格・支給経費・採用期間



■ 特別研究員-PD 申請資格の変更点

平成30年度採用者分より、学位に係る要件を平成30年4月1日時点で博士号取得後5年未満の者のみとされ、学位未取得である満期退学者、および標準修業年限を超えて博士課程に在学する者についてはPDの申請資格がなくなりました。

＜参考＞29年度採用分までは認められていた申請資格

・我が国の人文学又は社会科学の分野の大学院博士課程に標準修業年限以上在学し、採用年3月31日までに所定の単位を修得のうえ退学（満期退学）し、博士の学位を取得した者に相当する能力を有すると認められる者で、採用年4月1日現在、満期退学後3年未満の者

・採用年4月1日において博士の学位を取得する見込みがなく、我が国の大学院博士課程に標準修業年限を超えて在学することになる者

申請資格・支給経費・採用期間

申請資格・支給経費・採用期間などの詳細は、募集要項および日本学術振興会のWebサイトを必ずご確認ください。

（日本学術振興会>特別研究員）

<http://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>

申請手続きについて

手続き方法

■ ID・パスワードの取得

東工大のWebサイトから

「ID・パスワード発行依頼書」がダウンロードできるようになります。

http://www.rpd.titech.ac.jp/jsps_token/index.html

(東京工業大学 日本学術振興会特別研究員 > 公募情報 を参照)

Webサイトを参考に必要事項を記入のうえ、

研究推進グループ(j-fellow@jim.titech.ac.jp)あてご提出ください。

メールにてID・パスワードをお送りします。

(週ごとに木曜日締め→金曜日発行の予定です)

ID・パスワード発行締切：5月8日（月）

RPDのみ：4月12日（水）

手続き内容

- 平成28年度採用から全て電子申請になりました。

電子申請システム上で、申請者情報を入力し、ワードファイルで作成した「申請内容ファイル」をアップロードします。

★申請者情報

→氏名、学歴・研究課題等を入力

★申請内容ファイル

→研究計画・研究業績を記載したワードファイル

★評価書

→PDは2名、DCは1名の評価者に作成してもらう。

これらの書類作成について、手続きの流れに沿って説明します。

手続き方法

■ 申請書の作成

- ・ 申請者情報（学歴・研究課題など・日本語のみ）
→電子申請システム上で入力して作成。
- ・ 申請内容ファイル（研究計画・研究業績など・日本語または英語）
→様式(Wordファイル)を学振Webサイトからダウンロードして作成。
作成後、電子申請システムでアップロードして提出。
- ・ 評価書（日本語または英語）
→電子申請システム上で評価者のメールアドレスを入力。
入力されたメールアドレスに評価者用のID・パスワードが通知。
評価者はそれを利用してログイン→提出。

すべての書類が揃ったら、電子申請システム上で「**確認完了・提出**」をします。
書類が揃った後に提出ボタンを押さなければ本提出されません。

提出締切：5月17日（水） RPDのみ4月21日（金）

提出書類の注意事項

■ 評価書作成時の注意

最終的に電子申請システムで提出を行うには、
申請者情報の入力、申請内容ファイルの作成→アップロードに加えて
評価者が評価書を作成して提出している必要があります。

→**評価者の先生にしっかり連絡をとってください。**

（評価書作成依頼ボタンも押し忘れずに）

※評価書の中身は申請者は見ることはできません。

特別研究員申請 Q & A

よくある質問



- Qー平成30年4月1日に、東工大とは別の大学の博士後期課程に入学を希望しており、DC1の応募を考えているのですが、どちらの機関で申請手続きを行ったらよいですか？
- Aー**現在在学する、東京工業大学の研究推進グループ**にて、手続きを行ってください。
(※DC2、PDは受入先の機関で手続きを行ってください。)
- Qー現在東京工業大学の博士一貫コース（5年間）に在籍しています。平成30年3月に修士課程が修了し、翌4月から博士課程に進学する予定なのですが、この場合、応募区分はどうなりますか？
- AーDC1に応募してください。なお、申請書に記載する「課程種別」は、プルダウンメニューから「博士課程(3年間)」を選択してください。

よくある質問



- Qー特別研究員-PDと海外特別研究員は併願できますか？
- Aー併願できますが、PDへの応募は研究機関移動の要件があるため、特別研究員-PDと海外特別研究員で手続きをする機関が異なる可能性があります。

(例)

現在東京工業大学博士課程に在籍しており、平成30年4月1日には博士の学位取得見込である。研究機関移動要件があるため、他機関を受入予定の研究機関として特別研究員-PDに応募する。海外特別研究員については、東京工業大学に在籍し応募したい。

→特別研究員-PDは【他機関】で手続きする

海外特別研究員は【東京工業大学】で手続きする

海外特別研究員について、詳しくは下記にお問い合わせください。

国際事業課国際基盤グループ

Mail : kokuji.jsps@jim.titech.ac.jp

電話 : 03-5734-7690

受付時間 : 8:30~17:15(12:15~13:15は昼休み)

よくある質問



- Qー現在、博士後期課程の1年次に在学していますが、平成30年4月に別の大学院博士後期課程1年次に再入学の予定です。この場合、いずれの採用区分で応募したらよいのでしょうか？
- Aー平成30年4月に別の大学の博士後期課程1年次に入学し直す場合には、採用区分は「DC1」で応募してください。

審査について

審査

■ 選考方法

特別研究員等審査会の委員・専門委員による書面審査・面接審査

≫ 書類提出（5月17日 〆切） RPD:4月21日

≫ 書面審査

6人の専門委員による書面審査と領域別審査会

→ 第一次採用内定予定者（面接免除）と面接候補者を選定

10月中旬～下旬頃に結果開示 RPD:8月上旬頃

≫ 面接審査（12月上旬）

研究業績と今後の研究計画など説明、質疑応答

→ 1月上旬頃までに結果開示

※RPDは面接審査が廃止され、必要に応じて第二次選考(追加書類選考)が行われることになりました。

採用内定者には別途、採用手続き等のご案内を行います。

連絡先

■ 研究企画課研究推進グループ

Mail : j-fellow@jim.titech.ac.jp

電話 : 03-5734-3806 (内線 7221, 7610)

受付時間 : 8:30~17:15(12:15~13:15は昼休み)

事務室 : 事務局 2 号館 2 階